

～輸血を受けた患者さんのメッセージ～

献血者の皆様、有り難うございます。

私の小さい頃、祖父が手術の際、献血手帳の数が輸血の量となっておりました。その為に家族に輸血が出来なく悲しい想いをしました。

その想いに20才を過ぎた頃より、献血を繰り返し行いました。

何回かは忘れましたが、25～30回位以上と想います。(50才位まで)

今は輸血を受ける身分で皆様の献血が今の私の命綱です。

と云いますと何んでと思いたししょうが、私の病気には薬が有りません。

命の綱は輸血だけなんです。

今は週2回の輸血です。

皆様の献血、本当に有難うございます。